

報告事項

はりまや工区の整備のあり方

これまでの経緯

H12 事業着手

H15 工事着手

H23.3 南側区間工事中断
(北側区間供用開始)

H10～
シオマネキの
生息調査
(浦戸湾周辺)

H20～
新堀川環境調査
交通量調査

約10年にわたり
データを蓄積

約20年にわたり
データを蓄積

はりまや工区の工事中断区間の整備のあり方について、
様々な立場の方からご意見をいただく時期が到来

はりまや町一宮線(はりまや工区)まちづくり協議会

第1回(平成29年6月20日)～第5回(平成30年2月20日)

- 委員：地域住民の代表者、環境保護活動に取り組む者、学識経験者、行政関係者 計12名

整備のあり方についてのパブリックコメント (2回)

新堀川を考える新堀小OB・OG有志の会からの意見

まちづくり協議会から知事へ提言

(平成30年2月21日)

高知市の意見を聴く (平成30年4月9日)

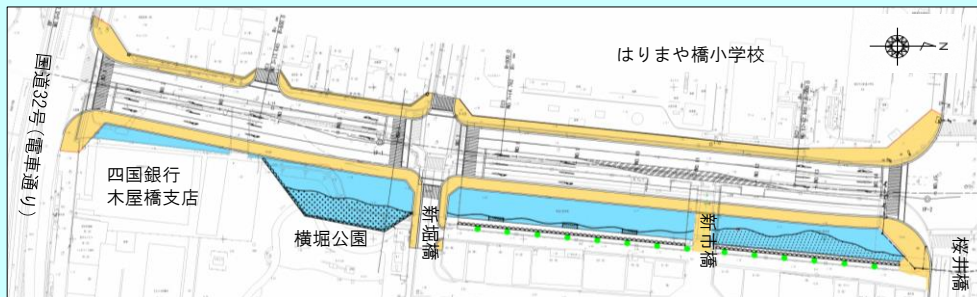
県の方針を明らかにする時期

まちづくり協議会からの提言 (抜粋)

- ①交通の状況、②希少動植物、③歴史・文化、④まちづくり の4つのテーマで議論を深めた。
- この4つのテーマは全て重要だが、立場によって思い入れや価値観が異なるため、全てのニーズを100%満たすことはできない。一つのテーマを追求することで、他の3つのテーマに不満を大きく残すことは適切ではない。
- それぞれのテーマの重要性を最大限に尊重し、全体として調和のとれた望ましい整備のあり方として、「新たな道路計画案」が相応しいと考える。

「新たな道路計画案」

希少動植物が生息・生育する自然環境や新堀川界隈に残る史跡等を守り、再生するとともに、これらを活かしたまちづくりを実現し、住民にとって安全で安心できる地域や道路づくりを最大限に実現できる最善の案



まちづくりの主体である高知市の意見 (要約)

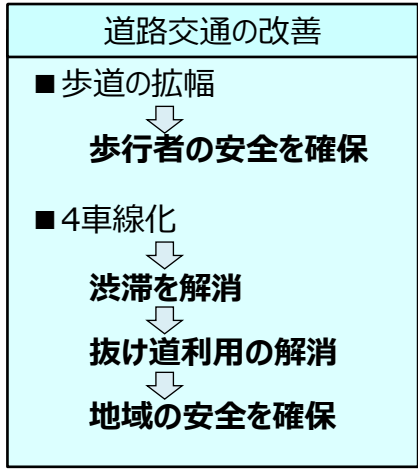
- 子供たちの安心・安全のため、早期の整備が必要。
- 南北交通のスムーズな流れのためにも必要。
- 環境・歴史の面で相当な配慮がなされた計画。
- 横堀公園のリニューアルも含めてまちづくりに取り組んでいきたい。

- 「まちづくり協議会」からの提言や高知市の意見を踏まえ、議論の過程を今一度再確認
- 希少種や掘割の保全方法について改めて議論

交通の状況

歩行者の安全確保は急務

- 【危険な歩道】
 - 歩道が狭く通学児童が危険な状況
- 【渋滞の発生】
 - 交通量は多く、渋滞が発生し4車線が必要
 - 小学校前の交通量10,600台/日>4車線化基準9,600台/日
 - 高速バス等も100台以上/日
 - 周辺の生活道路が抜け道に利用され危険
- 【このままでは将来も課題は続く】
 - 人口減少を考慮した将来交通量(10,000台)でも4車線が必要
 - 加えて周辺にマンション4棟が建設中で交通量は増加の見込み

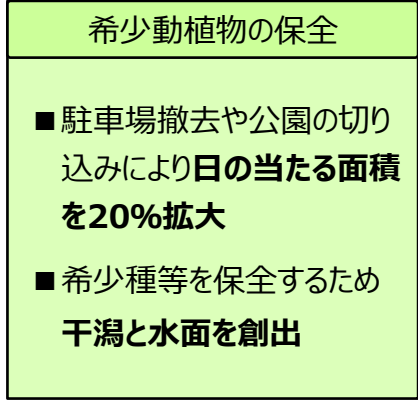


■ 交通の課題を解消し
安全で快適なまちづくりを実現

希少動植物

希少動植物への配慮

- 【10年以上、新堀川的环境調査等を継続】
 - データを蓄積
- 【既に整備済みの区間においても希少動植物が生息】
 - 工事完成区間の僅かな空間にもシオマネキやコアマモ、トビハゼの生息を確認
 - 過去に造成した人工の干潟にもシオマネキが生息
- 【さらに日が当たると今以上に希少動植物の生息環境が改善】
 - 試験的に駐車場を撤去した空間では、今まで生息していなかったシオマネキやコアマモ、トビハゼを確認

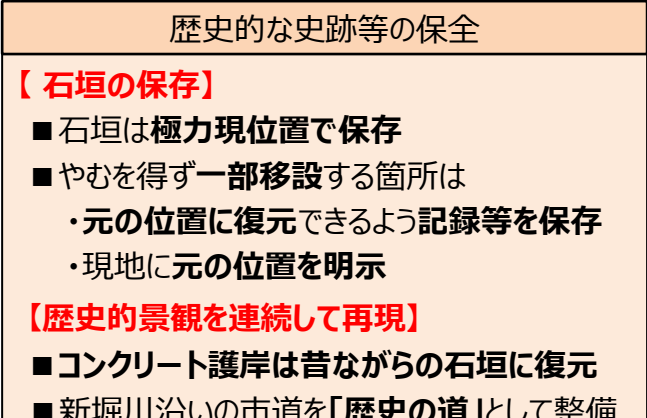


■ 今以上に環境が改善され
多様な生態系の保全を実現

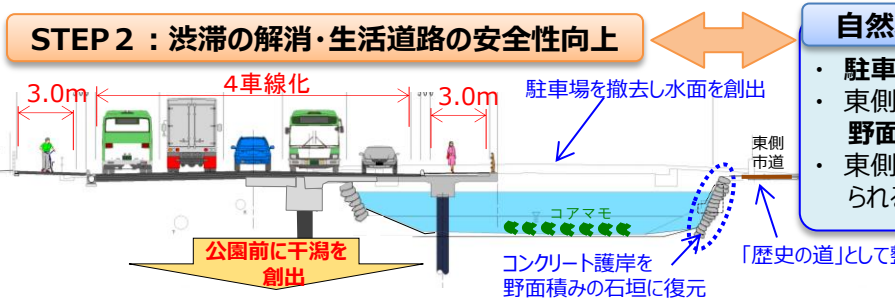
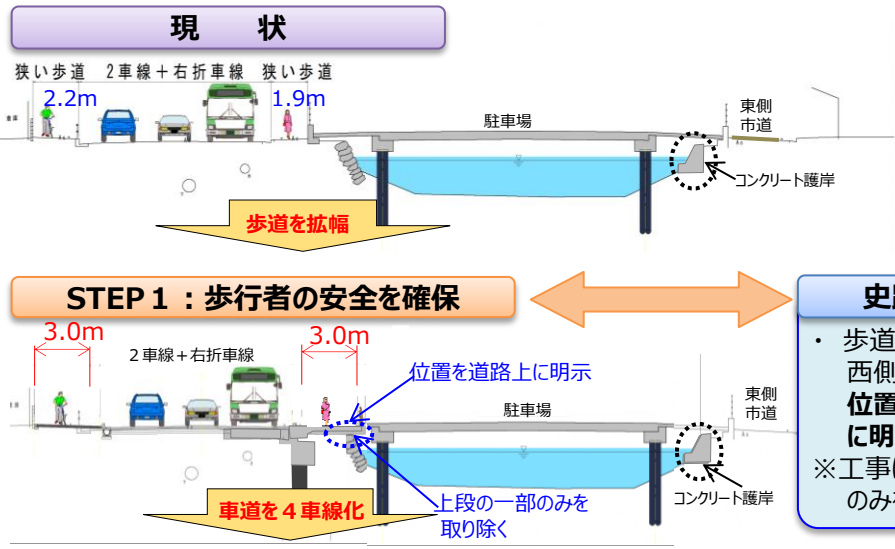
歴史・文化

歴史的な史跡等への配慮

- 【歴史的価値のある堀】
 - 新堀川は、江戸時代初期に造られた水運の堀
 - 新堀川界限には歴史的な史跡が多く存在
 - 昔ながらのたたずまいが残る石垣が現存
 - 一方で、駐車場下の東側は、コンクリート護岸に改変されている

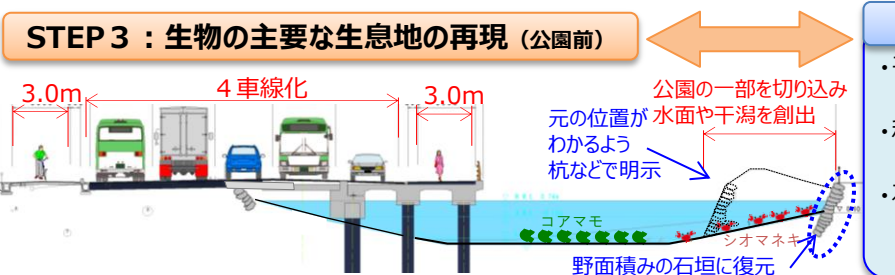


■ 歴史が語り継がれる
魅力あるまちづくりを実現



史跡への配慮

- 歩道拡幅により道路下になる西側の石垣は、できるだけ現位置で保存し、位置を道路上に明示
- ※工事に支障となる上段の一部のみを取り除く

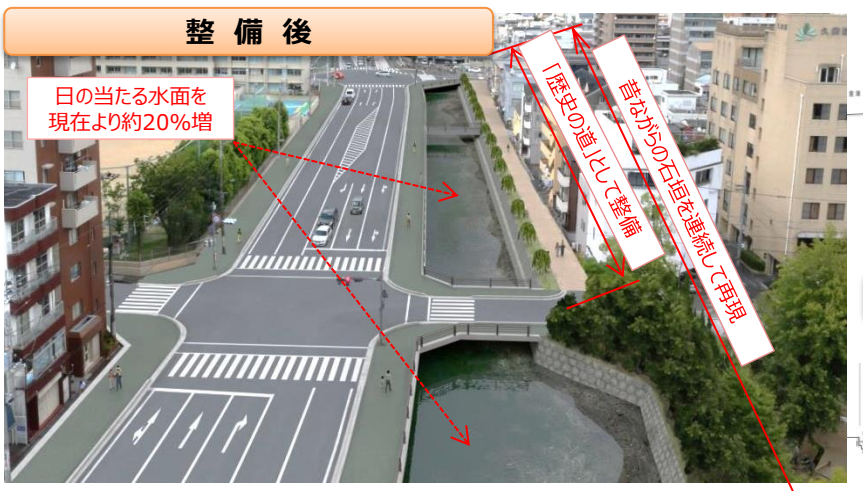


自然環境と史跡への配慮

- 駐車を撤去し水面を創出
- 東側にあるコンクリート護岸を野面積みに復元
- 東側市道を歴史的風情を感じられる「歴史の道」として整備

史跡への配慮

- 干潟を創出するため公園の石垣の位置を移動
- 移動した石垣は野面積みに復元
- 石垣を移動後も元の位置がわかるよう、杭などで明示



6月補正予算の概要 : 予算額 239,931千円

- 道路詳細設計 (測量・地質調査、道路設計、交差点設計、栈橋設計、橋梁設計)
- 干潟・水面設計
- 石垣設計
- 用地測量調査

工事を再開するにあたり、調査・設計に必要な予算を計上